

ソウル大学校とのジョイントシンポジウム 実施から期待すること

情報科学研究科 研究企画室長 宮永 喜一
(メディアネットワーク専攻 教授)

大韓民国 ソウル大学校と北海道大学が両大学間で毎年シンポジウムを開催していることを、みなさんは知っていますか？ 今年には毎年開催されているシンポジウムとは別に、両大学間で工学関係の連携を強くしたいという希望のもとに、工学研究院と情報科学研究科が「北海道大学工学系・ソウル大学校ジョイントシンポジウム」を企画し、7月20日（火）・21日（水）の2日間の日程で実施しました。

ソウル大学校は韓国において最も大きな規模を有する大学校で、研究活動も世界ランキングトップ50に入るなど非常に活発で、16の大学と七つの大学院で構成されています。その中の工科大学は、日本の工学部に相当する組織です。今回のシンポジウムのために来学されたのは、ソウル大学校の工科大学長、4名の副学長、他3名、計8名の工科大学の教授です。

7月20日は工学部特別会議室で、馬場 直志 工学研究院長、栗原 正仁 情報科学研究科長を含む、工学研究院と情報科学研究科の教授6名と、ソウル大学校の教授8名による会合が行われ、今回のシンポジウムの目的と、各々の大学および学部の紹介と、参加する各先生の自己紹介を含めた簡単な挨拶が交

わされました。

7月21日の午前中は、本学の工学研究院、情報科学研究科の教育・研究活動の紹介と、同大学校の教育・研究活動の紹介が行われました。特に、各々の大学における国際化に関する取組や、最先端研究に関するプログラム、大学全体の教育・研究予算や、工学系大学院の博士後期課程の学生動向（進学率や留学生数、就職先など）について詳細な情報交換が行われ、アジア地域だけではなく、世界における両大学のプレゼンスについて活発な意見交換が行われました。

午後からは、工学系教育研究センター（CEED）の説明会が行われた後、五つの分野別分科会が開催されました。本研究科に関係する分科会は、メディアネットワーク専攻が主体で実施した情報通信関連の分科会と、情報エレクトロニクス専攻とシステム情報科学専攻が主体で実施した電子情報システム関連の分科会でした。各々の分科会では、本研究科の各専攻の紹介及び同大学校の関連する専攻と学科の紹介の他、各分野における今後の研究連携プログラムなどについての意見交換が行われました。

ソウル大学校が挙げる大学の国際化や最先端研究の活性化は、本研究科も同じであり、今後も、本研究科、ならびに関連する専攻及び研究室単位でも、積極的な研究交流が実現されることを期待しています。



両大学教授による会合（7月20日）



分科会の様子（学生・両大学教員が参加）（7月21日）

平成23年度大学院入学試験

平成23年度北海道大学大学院情報科学研究科博士後期課程ならびに修士課程の入学試験が、8月18日（水）、19日（木）の両日実施されました。入試結果は9月1日に発表され、下表の217名（博士後期課程21名、修士課程196名）が合格しました。

平成23年度専攻別合格者数

専攻	定員	合格者数
複合情報学	24	28
	4	2
コンピュータサイエンス	24	20
	8	1
情報エレクトロニクス	39	46 [7]
	8	9
生命人間情報科学	33	33 [1]
	6	0
メディアネットワーク	30	36 [1]
	8	2
システム情報科学	27	33
	8	7
計	177	196 [9]
	42	21

・上段：修士課程、下段：博士後期課程

・[]：留学生（内数）

また、同時に行われた平成22年10月入学の外国人留学生及び社会人を対象とする入試では、修士課程4名（情報エレクトロニクス専攻、メディアネットワーク専攻、システム情報科学専攻）、博士後期課程1名（生命人間情報科学専攻）、社会人入試2名（メディアネットワーク専攻、システム情報科学専攻）が合格しました。

なお、今後専攻別に二次募集を行うかどうかが決まります。二次募集を行う場合の日程は次の通りです（詳細は募集要項でお確かめ願います）。

平成22年12月上旬 募集要項配布開始

平成23年 1月上旬 出願資格予備審査申請期間

平成23年 1月下旬 願書受理

平成23年 2月17日(木)～18日(金) 入学試験

大学院入試英語のTOEIC、TOEFL化について

情報科学研究科では、平成24年度入学者の大学院入試から、これまでの英語の筆記試験が、TOEIC、TOEFLに替わります。団体試験のTOEFL-ITPなどのスコアが使えないなど、制約がありますので、以下の情報科学研究科Webサイトで確認してください。

<http://www.ist.hokudai.ac.jp/examinfo/files/English-Test.pdf>

最近では、就職の際にもTOEICやTOEFLの試験結果が求められることが普通になってきていますので、いろいろな場面でこれらの試験結果を提示することが多くなると考えられます。このような事情から、本研究科では、学生の英語力を把握するため、9月末に現在の4年生を対象としたTOEICの団体試験を実施いたします。

（教育企画室長 高橋 庸夫）

大学院教育改革推進プログラム「国際的で多様な価値創造人材育成事業」による学生支援について

情報科学研究科では、昨年度までの3年間、組織的な大学院教育改革推進プログラム（大学院GP）により、学生国内旅費、学生外国旅費、学生論文校閲費、学生論文別刷費の支援を行ってきました。大学院GPは、平成21年度をもちまして終了しましたが、これらの支援項目は、大学院生の対外発表、特に国際化へ向けての対応能力を高める意味で、極めて重要な項目であると考えております。このため、「国際的で多様な価値創造人材育成事業」による学生支援事業ということで、継続していく予定です。また、これに引き続いて、「博士後期課程進学予定者に対する短期支援員の雇用」についても、継続したいと考えております。ふるって、応募してください。

（教育企画室長 高橋 庸夫）

ERATOプロジェクト概要説明会・オフィス見学会

昨年度採択されたERATO湊離散構造処理系プロジェクトの概要説明会・オフィス見学会が、去る6月18日（金）に、岡田 尚武 本学副学長、栗原正仁 情報科学研究科長、馬場 直志 工学研究院長をはじめとする約30名の学内外関係者の列席のもと、工学部アカデミックラウンジにて開催されました。JSTからは、本プロジェクトのパネルオフィサー（審査責任者）である西尾 章治郎 大阪大学副学長、およびJST担当部門の長である黒木 敏高 部長の両氏から、本プロジェクトの位置づけや選考の経緯等についての講演があり、続いて研究総括である湊 真一 准教授（当時）より、研究概要の説明と近況報告が行われました。その後、新しく開設されたERATOオフィスに移動し、内部の設備を見学して散会となりました。

なお本説明会に先立ち、佐伯 浩 本学総長への表敬訪問も行われ、ERATOを含むJSTと本学との協

力体制に関する意見交換が行われております。

「サイエンスカフェ in 北大」で異分野共同プロジェクトを紹介

日本学術会議北海道地区会議主催の「サイエンスカフェ in 北大」（共催：北海道大学、後援：北海道大学大学院情報科学研究科グローバルCOEプログラム）が、8月2日（月）、情報科学研究科で開催されました。日本学術会議の役割は、主に「政府に対する政策提言」、「国際的な活動」、「科学者間ネットワークの構築」、「科学の役割についての世論啓発」の四つですが、サイエンスカフェは、四つ目の「科学の役割についての世論啓発」を目的としたものです。今回のサイエンスカフェには、教職員、学生のみならず、市民の方や小学生も含めて40名ほどの参加者がありました。講師の渡邊日出海先生から、本研究科が推進している異分野共同プロジェクトと、こうした取り組みの一環として6月に実施された深海底探査に関する最新の成果がわかりやすく紹介されました。コーヒー片手に、このプロジェクトで開発された潜水艇HUBOS-2Kや深海に棲息する微小生物などの迫力ある映像を楽しみ、渡邊先生の問いかけに小学生が元気に答えるなど、まさしくサイエンスカフェらしい雰囲気、学外の皆さんにも大変好評のようでした。

（メディアネットワーク専攻 教授 小柴 正則）



深海底調査の様子を紹介する渡邊先生

慶南大学および慶熙大学関係者の来訪

7月6日（火）、慶南大学電子工学科（大韓民国）から、学科長をはじめとする5名の先生方が情報科学研究科を来訪しました。また、7月20日（火）には、同じく大韓民国の慶熙大学電子通信工学科から、学部3年生と4年生の学生約30名が本研究科を来訪しました。

情報エレクトロニクス学科コース分属

平成22年度の情報エレクトロニクス学科コース

分属結果が9月24日（金）に発表されました。対象者は在籍期間および修得単位数の要件を満たした学部2年次学生175名および留学生7名、計182名です。各コースへの分属数は下表の通りです。

平成22年度情報エレクトロニクス学科 コース分属結果

コース	標準定員	分属数
情報工学	25	28 (1)
コンピュータサイエンス	25	20 (1)
電子情報	41	37 (4)
生体情報	34	34
メディアネットワーク	30	33
システム情報	27	30 (1)
計	182	182 (7)

分属者数（ ）内の数字は留学生数で内数

大韓民国・国立韓国海洋大学校と大学間交流協定を締結

情報科学研究科は、6月3日（木）、大韓民国 国立韓国海洋大学校との間に学术交流に関する協定、ならびに学生交流に関する覚書を責任部局として締結しました。同大学校は、1919年設立の国立総合大学で、四つのCollegeと大学院専門課程を有し、約9,000人の学生を擁しています。このうち工科大学は最大のCollegeで、電気電子工学科、コンピュータ制御電子工学科、ロジスティクス学科、データ情報工学科、電波工学科、ナノ半導体工学科、機械情報工学科、建設環境工学科からなり、本研究科の分野と非常に近い構成を持っており、北大工学部出身の教員も多数おられます。同校は、これまで造船や海運に関わる分野の教育に重点を置いてきましたが、今後は、無線通信、情報科学、ロジスティクス、電子、電気、半導体、システム工学、リモートセンシングなどのICT分野を戦略的に強化したい意向が強く、これら分野を総合的にもつ本研究科との組織的交流を希望され、本協定締結に至りました。今後は学生交流なども行われる予定です。

（システム情報科学専攻 教授 金井 理）

【人事異動】

[教授]

(昇任) 平成22年10月1日	
湊 真一	コンピュータサイエンス専攻 知識ソフトウェア科学講座 (同講座 准教授より)

[助教]

(採用) 平成22年6月16日	
川上 良介	生命人間情報科学専攻 (協) 生体機能工学講座 (6/16電子科学研究所新規採用)

[客員教授]

(辞職) 平成22年8月31日	
坪川 信	メディアネットワーク専攻 (連) ユビキタスネットワーク学講座

[事務職員等]

(転出) 平成22年7月5日	
平野 知	情報科学研究科図書担当 事務職員 (工学研究院・工学院・工学部図書室 中央図書担当へ)
(転入) 平成22年7月5日	
三浦 千穂	情報科学研究科図書担当 事務職員 (工学研究院・工学院・工学部図書室 中央図書担当より)
(採用) 平成22年8月17日	
大須賀 真紀	教務担当 事務補佐員 (新規採用)
(退職) 平成22年8月16日	
津田 直子	教務担当 事務補佐員
(転出) 平成22年10月1日	
西 徹	会計担当 主任 (学務部学生支援課主任(会計担当)へ)
(転入) 平成22年10月1日	
一ノ戸 幸宏	教務担当 係長 (農学事務部係長(人事担当)より)
市川 智章	会計担当 主任 (法学研究科・法学部主任(会計担当)より)
下條 春香	教務担当 事務職員 (理学・生命科学事務部事務課(教務担 当)より)
(採用) 平成22年10月1日	
伊藤 一馬	教務担当 事務職員 (新規採用)

[受賞等]

[教員]

2010年7月	雨宮 好仁
情報エレクトロニクス専攻 教授	
社団法人 電子情報通信学会エレクトロニクスサイエ ティからフェローの称号を受称	

[学生]

2010年1月18日	上野 憲一 ¹⁾ 、浅井 哲也 ²⁾ 、 雨宮 好仁 ³⁾ 、他1名
1)情報エレクトロニクス専攻 博士後期課程3年(当時)、 2)同専攻 准教授、3)同専攻 教授	
社団法人 電気学会 優秀論文発表A賞 「極低消費電力LSI のためのCMOS参照電流源回路」(2009年10月の電気学 会 電子回路研究会にて発表)	

2010年3月1日	山本 和輝
電子情報コース 4年(当時)	
社団法人 電子情報通信学会 集積回路研究会 若手研究会 優秀若手研究ポスター賞 「サブスレッショルドCMOS LSIのためのナノワットDA変換器」(2009年12月の電子 情報通信学会 集積回路研究会にて発表)	
2010年5月14日	長岡 拓美
複合情報学専攻 修士課程1年	
社団法人 情報処理学会 情報処理学会創立50周年記念 (第72回) 全国大会 情報処理学会推奨卒業論文 「分散 システムの状態変化に対する非集中化モニタリング手法の 提案」(情報工学コース4年時の論文)	
2010年9月4日	葛西 洸通
システム情報科学専攻 修士課程1年	
社団法人 精密工学会北海道支部 2010年度精密工学会北 海道支部学術講演会優秀プレゼンテーション賞 「4次元 形状モデリングにおけるモデル間の干渉状態の検出と解 消」	

新教員紹介

1. 最終学歴および学位、2. 前職、3. 専門分野



湊 真一 教授

コンピュータサイエンス専攻 知識ソフトウェア
科学講座

1. 平成7年京都大学大学院工学研究科情報工
学専攻博士後期課程修了、博士(工学)
2. コンピュータサイエンス専攻知識ソフト
ウェア科学講座 准教授
3. 大規模離散構造の演算処理アルゴリズム



川上 良介 助教

生命人間情報科学専攻(協)生体機能工学講座

1. 平成15年九州大学大学院医学系研究科博士
後期課程修了、博士(理学)
2. 生理学研究所脳形態解析研究部門
専門研究職員
3. 神経生理学(電気生理)

記事の詳細及びこちらで紹介されていない記事については、情報科学
研究科ホームページ、工学部広報ホームページをご参照ください。

○情報科学研究科ホームページ
<http://www.ist.hokudai.ac.jp/news/>

○大学院工学院・大学院工学研究院・大学院情報科学研究科・
工学部 広報ホームページ
<http://www.eng.hokudai.ac.jp/news/publication/news/>

IST NEWS No.23 平成22年10月20日発行

発行：北海道大学大学院情報科学研究科 広報・情報室
(編集担当：浅井哲也・山本雅人・佐藤健二・小山内詔子)



情報科学研究科ホームページ

<http://www.ist.hokudai.ac.jp/>

